



シーニックバイウェイ北海道 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

夢を育む海と大地と清流の道

十勝に3つあるルートの南側「十勝シーニックバイウェイ南十勝夢街道」は平成23年に指定ルートに認定され、中札内村、更別村、幕別町忠類地区、大樹町、広尾町の3町2村、37団体が構成されています。

「うちの町から見るのが一番!」と、どの町村の方も自信を持って教えてくれるオススの景観は、季節毎に異なる顔を見せてくれる雄大な日高山脈がシンボルです。その日高山脈から流れ出る清流が、広大な平野を横切り太平洋へと流れる、山・川・大地・海の多様な景観を持つ贅沢なルートです。

南十勝を感じる写真

南十勝は夢ある独自の景観が自慢で、雄大な自然が広がるとともに、春にはルート全域で野草が花開き、秋には防風林の黄葉が広がります。大規模な農作業の風景も景観に溶け込んでおり、それらを見渡す展望台もあります。また、更別村の霧氷や大樹町の御神渡り、広尾町の毛嵐等、気候条件が織り成す神秘的な風景を見ることができるのも、地域の自慢の一つです。

この自慢の景観を伝えようと始めた活動が「南十勝夢街道フォトコンテスト」です。平成18年から実施しており、今年度で11年目を迎えました。コンテストの応募作品には、南十勝ならではの風景や現象、地域の暮らし等、毎年素敵な写真の応募が多数あります。中には、それまで気付かなかった南十勝の姿が写っているものもあり、地域の魅力を再発見できます。

当活動では、受賞作品を用いてフォトコンテストカレンダーを毎年制作し、1部500円(税込)で販売しています。年によってカレンダーの雰囲気が異なるため、どんなカレンダーができるのか、毎年ワクワクします。カレンダーには、写真の風景を「実際に見たい!」という気持ちになる作品が詰まっています。

また、当ルートの5町村で受賞作品の巡回展を開催し、地域の方や訪れた方へ、南十勝の新たな魅力を発



嶋津 敦子 (しまづ あつこ)

十勝シーニックバイウェイルートコーディネーター
(一社)北海道開発技術センター研究員

紋別郡興部町出身。大学時代を帯広市で過ごし、その後、興部町や札幌市で生活。2013年から再び帯広市で生活を始め、十勝シーニックバイウェイ十勝平野・山麓ルート、トカプ子雄大空間、南十勝夢街道のルートコーディネーターを担当。十勝での生活を満喫しながら、地域活動の支援を行っている。



南十勝夢街道フォトコンテスト
カレンダー2017



2016南十勝夢街道フォトコンテスト
グランプリ作品「夜空に抱かれて」

信しています。

平成28年は253作品もの応募があり、グランプリを受賞されたのは札幌市の方でした。毎年1回は十勝を訪れて撮影をされ「また撮影に来たい」とのことです。当活動は、地域の魅力を発信し、訪れていただく機会を増やす取り組みにもなっています。

コーヒーと絶景でおもてなし

幕別町忠類地区共栄牧場内の小高い丘の上には、十勝平野と雄大な日高山脈を眺めることができる「シーニックカフェちゅうるい」があります。7～9月の土・日・祝日限定でカフェを運営しているのは、地域のボランティアの方々です。訪れた方を無料のコーヒーと美しい風景でお迎えするカフェは、癒しの時間を与えてくれる憩いの場所となっています。

当カフェは地域をPRすることで交流人口を増やし、地域活性化に役立てることを目的として、平成18年から始まりました。「この眺めの素晴らしさ、地域の魅力を伝えたい」という思いから手探りで始めた活動です。より素敵なお時間を過ごしていただくためにアンケートを実施し、その声に基づいて設備を充実させ、おもてなしの方法を工夫してきました。町や財団、民間企業等の協力を得て、駐車場の拡大や歩道の舗装、カフェ設備を充実させる等、整備を進めたそうです。おもてなしの手法も工夫し、手作りのゆで卵や防寒着の提供等、できる範囲で行っています。コーヒーはこだわりの厳選豆をその日使う分だけ挽いて使用、定期的に演奏会等のイベントも開催する等、地域の方々のおもてなしの心が、カフェを盛り上げています。

今年度で11年目を迎えた当カフェは、「たくさんの方と出会い、色々なお話ができる」とボランティアの方自身が、楽しんで活動していることが特徴の一つです。

地域の魅力を次世代へ

南十勝夢街道では、学校の授業の中にシーニックバ



シーニックカフェちゅうるいからの眺めとカフェ

イウェイを組み込んだ「学校シーニックバイウェイ」も実施しています。地域で活動するメンバーがシーニックバイウェイとは何かを伝え、子供たちに地域の魅力を考えてもらいます。子供たちの「地域を愛する気持ち」「訪れる人を想う気持ち」を育み、子供目線で地域の魅力を発信する取り組みです。平成22年に忠類でスタートし、ベスト・シーニックバイウェイ・プロジェクト2011で最優秀賞を受賞しました。

子供たちが見つける地域の魅力は、大人が気付かない、斬新でおもしろい視点がいっぱいです。「温泉の露天風呂では凍ったタオルでチャンバラができる」など子供たちが見つける魅力を基に、忠類では「こどもたんけん夢マップ」を作成しました。自分達の声になったことは、子供たちにとってもかけがえのない経験になりました。

近年は中札内村で、村の「景観まちづくり委員会」と共同で「学校シーニック（景観学習）」を実施しています。子供たちは学校の周りの風景を撮影して、その景色について発表します。ふるさとの美しさを改めて感じるきっかけになっているのではないのでしょうか。

学校シーニックバイウェイは、将来、地域で暮らす子供たちの“地域を想う心”を育む、まさに“未来を育てる”夢と希望に満ちた活動です。

南十勝夢街道の未来

南十勝夢街道の活動は、地域を想う気持ちや、活動を通じて得た喜びが原動力となっています。その南十勝の魅力を発信し続けるため、当ルートでは役割を分担し、活動しています。これから先の活動が、学校シーニックに関わった子供たちにつながり、いつか一緒に活動できる日がくることを思うと、今から楽しみでなりません。そんな日を夢見ながら、今後も地域の活動に携わっていきたいと思います。



こどもたんけん夢マップ（夏）

学校シーニックバイウェイ（中札内村）